

高岡ロータリークラブ

2023/2/9

会長／谷道 伸也 幹事／島 尚之



No.28

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 勝山 会場監督 点鐘 谷道 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト

高岡市立博物館 主幹 仁ヶ竹 亮介 様

会長挨拶／報告

幹事報告

2月ロータリーレートは1\$=130円 (前月 132円)

* 正会員数 76名 *

* 出席免除者 2名 *

* 免除者のうちの出席者 0名 *

* 本日の出席者 47名 *

Happy
Birthday柳澤 剣治 会員
(2/11・58才)

ニコニコBOX 9件 31,000円

- 谷道会長／仁ヶ竹さん、2回目の卓話楽しみにしております。よろしくお願いいたします。
また利長公シンポジウムのパネラーよろしくお願いいたします。
月曜日開催の定款細則検討委員会にご参加の室崎委員長をはじめとする委員の皆様、有意義な委員会を開催していただき有難うございました。
- 塩崎副会長／仁ヶ竹様、卓話よろしくお願いいたします。
- 島幹事／高岡市博物館主幹 仁ヶ竹亮介様、高岡 RC へようこそ。
高岡城についての卓話楽しみにしています。
- 竹中君／仁ヶ竹さん、本日の卓話よろしくお願いいたします。
- 加茂君／仁ヶ竹さん、ようこそ高岡 RC へ。卓話楽しみにしています。
- 山岡君／仁ヶ竹様、お世話になっております。本日は卓話よろしくお願いいたします。
- 山本（毅）君／アメリカが中国のスパイ気球を撃墜しました。この問題でプリンケン國務長官は、訪中を取り止めました。3年前にはスパイ気球が仙台上空にも飛来し、ニュースにもなりましたが、当時の河野太郎防衛大臣は、調査することもせず防衛上問題がないとして何もしてませんでした。中国は、尖閣諸島の領海を頻繁に侵入し、排他的経済水域内に 5 発ものミサイルを撃ち込み、秋葉原、銀座、名古屋、福岡には海外派出所という警察組織を置いて我が国の主権を侵害しているのに、林芳正外務大臣は、何ら抗議することなく、未だに訪中を希望しているそうです。
- 二口君／先月、北陸銀行昭和通支店の親睦会の会長職を多田前会長より引継ぎ仰せつかりました。多田前会長の長年に亘るご尽力、ご功績に感謝いたしますと共に、たくさんの会員の皆様から頂戴いたしました身に余るお祝いと激励のお言葉に改めて御礼申し上げます。
- 才高君／皆出席祝い頂きました。

プログラム…卓話

『 絵図・古文書にみる高岡城跡 』

仁ヶ竹 亮介 様



2022年9月29日の卓話にお招きいただき、『国指定史跡・日本百名城 高岡城の魅力』と題して、高岡城跡の概要をお話させていただいた。その際のお旨は貴会 HP (第 3385 回/No.11) にアップしていただいておりますので、そちらをまたご覧いただきたい。

本日はその際に詳しく話さなかったところを補足させていただきたい。私の専門でもある絵図・古文書などの「歴史資料(史料)」は、歴史を知る上で極めて貴重なものである。特に「一次史料」といわれる同時代の史料は現在でもエビデンス・ファクトの重要性がいわれているが、歴史学上でも最も重要で信頼度の高いものである。高岡城跡の「一次史料」、即ち築城者である前田利長の書状は 30 数通あり、写しを含めると 50 数通もあり、極めて多いといえる(この他、二次史料である古記録は 40 数点あり)。高岡城跡は現在土の上には建造物は一つ残っていないが、この史料の多さは特筆すべきで、その築城、及び城下町造成の経緯が詳細に判明する。1609(慶長 14)年 3 月 18 日に隠居していた富山城を焼失すると、利長は即座に駿府(静岡市)の大御所・徳川家康のもとに関野(高岡の前名)での新規築城許可を得るための使者を走らせ、4 月 6 日付で許可を得ている。12 日付の書状には「駿河よりの使者帰り次第に」高岡木町の建設を指示すると記す。22 日付で城と武家屋敷絵図の提出を指示し、5 月 5 日付で「高おか」(高岡の初出)城の縄張(設計)図は満足したとし、17 日付で地鎮祭を執行了と母に伝えている。8 月 3 日付ではもう仕上げの段階にあるが、石垣や瓦葺きなどまだ出来ていない所を平夫(労役)をもってしてもやり遂げるように指示。5 日付では入城(移徙)の予定日を 25~29 日にするので、道中の輿、人員の手配、橋・船橋を指示。利長は短気でせっかちであったともいわれるが、非常に些細なことでも指示をしている。例えば、8 月 8 日付は 2 通もあり、1 通目には番所・鷹部屋・堀が未完成のため、入城を 9 月 4・5 日に延期し、本丸普請の遅れを金沢の重臣と相談せよと指示し、2 通目には入城を 5・6 日に延期し、鷹部屋・厩等より木戸・堀を優先せよとしている。8 月 13 日付では「たたき土居」の工事の遅延と人足の士気が落ちていることを聞き、奉行に現場に出るように指示。15 日付では法印の占いにより入城日を 9 月 13 日と決定したので、人足・牛の手配や掃除を指示している。あまりに激しい督促のせいか本丸「つきどめ」の石垣が崩れたことが 8 月 26 日付書状でわかる。9 月 18 日付の入城 5 日後の書状では二の丸に門と隅櫓二つの建造の指示を既にしたとあり、入城した時点ではまだ未完成であったことがわかる。

この書状の多さ、指示の細かさは利長の性格もあろう

が、当時の利長の心境を察するに、利長が一刻も早く自分の拠点を欲していたことがうかがえる。32 歳下の異母弟(養嗣子)利常を藩主にし、徳川より「松平姓」を下賜されたうえ、将軍秀忠の娘(珠姫)をめあわせて完全に「徳川大名」として前田本家の存続を確固たるものにしつつも、隠居利長が本家とは別に新たに高岡城(前田家領のほぼ中心)を築いておくことを重視したと思われる。未だ大坂に豊臣秀頼がおり、圧倒的に有利とはいえ徳川もまだ 2 代、この先何があるかは分らない情勢であった。ちなみに利長は上洛するたびに秀吉を祀る豊国社に参詣し、秀頼に謁見しており、秀吉より下賜された「羽柴肥前守」の頭文字「はひ」と生涯書状に署名をしており、その「本音」が垣間見える。しかし、天下を狙うというものではなく、あくまでも「前田家存続」がその最大の目的であったと思われる。

さて、高岡城跡関係史料には絵図もあり貴重な情報を提供してくれる。まず、「越中高岡古城図(大図)」(金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)は極めて正確で詳細な絵図である。今は半分以上失われた土塁が黄色で描かれているのが重要。特に本丸入口の L 字状の土塁(内升形)は現在失われている。この突き当りの土塁は現在の射水神社の鳥居であり、左の土塁が切り通しの削られている。この土塁があるだけで 3 度向きを変えねばならず、人間の弱点である側面攻撃(横矢掛かり)に何度も晒される強固な防御施設である。

それよりも強固なものは現在の博物館がある鍛冶丸中央まで二の丸方向から延びている土塁である。別の絵図「高岡御城景台之絵図」(原図 1612 年/高岡市立中央図書館蔵)、及び『射水郡分記録等抜書』(江戸中期、塚本家文書)のこの部分には「埋御門」とある。埋門は城の石垣や土堀の下に穴をあけるよう造った門のこと。多くは裏口や非常口であったが時に近世城郭最強の「枳形門」の一の門としても採用された。鍛冶丸の別名は「枳形」といい、鍛冶丸と明丸(動物園)を囲む水堀は「枳形堀」ともいわれる。また、富田景周『越登賀三州志』(1800 年頃)の鍛冶丸の記述に「古ノ虎口(城(郭)の出入口)、闌(城の外郭の門)閤(物見台)・敵楼(物見櫓)、或二重堞(城壁の上にめぐらした低い垣)」との表現などと考え合せると、鍛冶丸には「枳形門」があった可能性も指摘できようか。

また、本丸と現在の梅林を繋ぐ朝陽橋は 1878 年に架けられたが、上記の「景台之絵図」と塚本家文書には「貫土橋/半分足掛・半分車橋」と記述され、可動式の車橋(算盤橋)があったという。この橋台は石垣で築かれていた。さらに、本丸北隅の所謂「天守台」とされる一段高い張り出し部には、同史料には「御材木御蔵」とある。入城 3 年後においても天守はなく、「材木蔵」があったという。しかし、「御」の字が二つも付き、この場所から考えると、一朝事あらば天守になりうる櫓を急造するための材木蔵かとも想像される。

などなど、高岡城跡は一部の試掘しかなされていないが、歴史資料からは多くの建造物の情報が得られる。将来的には本格的な発掘調査も期待したい。

山岳同好会

日 時：2月11日(土)～12日(日) 1泊2日
行 先：ピラタス蓼科スノーリゾート
宿 泊 先：いろいろの宿 蓼科パークホテル

